

「多様な学習機会の確保の在り方についての検討会議」の設置について

令和 7 年 12 月
学 校 教 育 課

外国籍や不登校など、様々な事情により義務教育を十分に受けることができなかった方が、学びを生かし、自立して社会で活躍できるよう、夜間中学や学びの多様化学校（不登校などに対応した柔軟な教育課程を持つ学校）を含む、多様な学習機会の確保の在り方について検討するための会議を設置します。

記

1 会議名称

多様な学習機会の確保の在り方についての検討会議

2 委員構成

- ・外部有識者（夜間中学での勤務経験がある方、大学教員など）
- ・市町（組合）教育委員会代表者
- ・京都府知事部局関係課

3 主な意見聴取内容

- ・夜間中学で学んでみたい方などのニーズを把握するために実施した「夜間中学についてのアンケート」に係る分析及び検討結果について
- ・多様な学習機会の確保（夜間中学、学びの多様化学校など）の在り方についての今後の方向性について など

4 今後の予定

- ・令和 8 年 2 月頃に第 1 回検討会議を開催
- ・令和 8 年度末までに 3 回程度検討会議を開催
- ・検討会議での意見等を踏まえつつ、多様な学習機会の確保（夜間中学、学びの多様化学校など）の在り方についての方向性を示す。

5 その他

夜間中学についてのアンケート結果概要・・・別紙のとおり

夜間中学についてのアンケート結果概要

1 実施目的

夜間中学で学んでみたい方などのニーズを把握し、夜間中学を含めた多様な学習機会の確保の在り方を検討する。

2 実施期間

令和7年8月1日(金)～令和7年9月30日(火)

3 実施内容

(1) 周知方法

はがきつきチラシ及び多言語チラシを作成し、府内の学校、市町教育委員会、教育支援センター、公民館、図書館、社会福祉協議会、福祉関係の窓口、ハローワーク、地域若者サポートステーション、京都府国際センター、集配郵便局などに配架 合計：15,000部

(2) 回答方法

はがきでの回答及びインターネットでの回答

※インターネットでの回答については、日本語以外に7言語での回答が可能

(3) 調査項目

別添「はがきつきチラシ」のとおり

4 回答件数

215件（はがき：69件、インターネット：146件）

※インターネットでの回答内訳：日本語126件、英語15件、中国語4件、韓国語1件

5 結果概要○自らが夜間中学で学んでみたいと思われている方

- ・「夜間中学で学んでみたい」と回答された方が68件
- ・「60代以上」と回答された方が36件で最も多く、次いで「30代」と回答された方が16件
- ・「中学校を卒業している」と回答された方が43件
- ・「中学校を卒業していない」と回答された方が22件
- ・「外国籍」と回答された方が18件
- ・学びたい理由は「中学校は卒業したが、もう一度学び直したいから」が46件で最も多く、次いで「高等学校へ進学する学力をつけたいから」が15件
- ・居住地は南部が多い。

○夜間中学のことを知らせたい人が身近にいる／知らせたいと思う人がいる・場所がある方

- ・「知らせたい人が身近にいる」と回答された方、「知らせたいと思いつく人がいる・場所がある」と回答された方（「夜間中学で学んでみたい」を併せて回答された方を除く）が97件

<知らせたい人について>

- ・「10代」と回答された方が34件で最も多く、次いで「60代以上」と回答された方が27件
- ・「中学校を卒業している」と回答された方が61件
- ・「中学校を卒業していない」と回答された方が32件
- ・「外国籍」と回答された方が45件
- ・知らせたい理由は「日本語の読み書きを身に付けたいから」が52件で最も多く、次いで「高等学校へ進学する学力をつけたいから」が35件
- ・居住地は南部が多い。

さまざまな理由により、義務教育を修了できなかった人などを対象とする

夜間中学をご存じですか？

～夜間中学についてのアンケートご協力のお願い～

夜間中学とは、夜の時間帯に授業が行われる公立の中学校です。様々な理由により、義務教育を修了できなかった人や、本国で義務教育を修了していない外国籍の人、不登校等のためにほとんど学校に通えなかった人などが学ぶことのできる学校です。

- 授業料は無償です
- 週に5日、授業があります（土日・祝日を除く）
- 夜の時間に学びます（例 17 時～ 21 時）
- 教員免許を持つ公立中学校の先生が教えます
- すべての課程を修了すれば、中学校卒業となります

ぜひ皆さまの声をお聞かせください

現在、京都府内では京都市に夜間中学校が1校ありますが、京都市に住んでいる人、京都市で働いている人が対象となっています。この度、京都府教育委員会では、夜間中学で学びたい人などのニーズを知るためにアンケート調査を行います。「夜間中学で学びたい人」や「夜間中学で学んでほしい人が身近にいる人」はぜひご回答ください。

回答期限／令和7年9月30日（火曜日）

① はがきで回答の場合

裏面のアンケートの回答をはがき部分に書き、切り取ってポストに入れてください。切手は不要です。

② インターネットで回答の場合

京都府教育委員会のホームページからアンケートページを開き、回答してください。

夜間中学について、詳しくは文部科学省ホームページをご覧ください。

料金受取人払郵便

西陣局
承認
5076

差出有効期間
令和7年9月30日まで

郵便はがき

6 0 2 - 8 7 9 0

京都市上京区下立売通
新町西入藪之内町

京都府教育庁指導部学校教育課
「夜間中学についてのアンケート」係 行



お問い合わせ

京都府教育委員会 学校教育課
TEL : 075-414-5840 | mail : gakkyou@pref.kyoto.lg.jp

夜間中学についてのアンケート



Q1 あなたは夜間中学のことを知っていましたか？

1. 知っていた 2. 知らなかった

Q2 あなたは夜間中学で学んでみたいと思いますか？または、夜間中学のことを知らせたいと思う人があなたのまわりにいますか？（いくつでも選択可）

1. 夜間中学で学んでみたい 2. 知らせたい人が身近にいる
3. 知らせたいと思いつく人がいる／知らせたいと思いつく場所（団体・職場など）がある [具体的に：]
4. 学びたいと思わないし、知らせたいと思う人もいない

※以下の質問は Q2 で 1, 2, 3 のいずれかを選んだ人にお尋ねします。

Q3 あなた（またはあなたが夜間中学のことを知らせたい人）のことを教えてください。

- (1) 年齢 1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代以上
(2) 性別 1. 男性 2. 女性 3. その他／答えたくない
(3) 中学校を卒業していますか 1. している 2. していない
(4) 国籍 1. 日本国籍 2. 外国籍 [国名：] (5) お住いの市町村 [] 市・町・村

Q4 あなたが学びたい（またはその人に知らせたい）理由を教えてください。（いくつでも選択可）

1. 中学校を卒業していないから 2. 中学校は卒業したが、もう一度学び直したいから
3. 高等学校へ進学する学力をつけたいから 4. 日本語の読み書きを身に付けたいから
5. 日本の中学校で知識や技能などを学びたいから 6. その他 [具体的に：]

Q5 ※Q2 で 1 を選んだ人にお尋ねします。夜間中学で学んだあとは、どのような進路を考えていますか？

1. 高校卒業資格を取るために、高校へ進学したい
2. 高校へは進学せずに働きたい
3. 卒業後のことはまだ考えていない

Q6 ※Q5 で 1 を選んだ人にお尋ねします。住んでいる地域に夜間定時制など、高校卒業資格が取れる学校がある場合は夜間中学よりもそちらに入学したいですか？（夜間定時制への入学は 9 年間の義務教育課程を修了していることが条件です。）

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

Q7 ※Q2 で 2, 3 を選んだ人へお尋ねします。その人（たち）とあなたの関係を教えてください。

1. 家族・親族 [具体的に：] 2. 友人・知人
3. 仕事やボランティアで知っている人
4. 間接的に見聞きた 5. その他 [具体的に：]

Q8 ※Q7 で 3, 4 を選んだ人へお尋ねします。あなたの職業または関わっている活動を教えてください。

1. 福祉 2. 教育 3. 社会的弱者支援
4. 外国人支援 5. その他 [具体的に：]

Q9 夜間中学についてのご意見をお書きください。

夜間中学についてのアンケート [回答]

右のアンケートを読み、あてはまる番号を○で囲んでください。
[] には具体的な内容をお書きください。

Q1	1 . 2
Q2	1 . 2 . 3 [] . 4
Q3	(1) 1 . 2 . 3 . 4 . 5 . 6
	(2) 1 . 2 . 3
	(3) 1 . 2
	(4) 1 . 2 [国名：]
	(5) [] 市・町・村
Q4	1 . 2 . 3 . 4 . 5
	6 []
Q5	1 . 2 . 3
Q6	1 . 2 . 3
Q7	1 . 2 . 3 . 4 . 5
	1 . 5 を選んだ人は具体的な内容をお書きください
Q8	1 . 2 . 3 . 4 . 5
	5 を選んだ人は具体的な内容をお書きください
Q9	ご意見をお書きください。